

おおとしかから版 Information

●臨時総会報告

12/10(日)に臨時総会を行いました。
これからの5年間の大歳地区の地域づくり計画を審議決定しました。人口が増え、高齢化も進む中で住みよい大歳とするための基本方針です。
年の瀬の忙しい時期に参加していただき本当にありがとうございました。お疲れさまでした。



●史跡看板設置予定

現在、史談会では盛んに看板の制作を行っています。すでに6箇所に設置している史跡看板を1枚にまとめたもので、交流センター駐車場東側に設置を予定しております。乞うご期待!



●内水氾濫対策を「大歳元気ミーティング」で市長に訴え

11/20(月)、伊藤和貴市長と大歳まちづくり協議会との懇談会(元気ミーティング)が開かれ、市長は先般の豪雨災害で、大歳地区が市内での床上浸水の件数の中で最も多かったことに言及し、今後浸水対策をしっかりと考えていきたいと挨拶されました。

懇談会の中心は、これまではややもすれば放置されてきた内水氾濫への対策。市が本格的に取り組む姿勢を示されたことは、大変喜ばしいことで、住民からも具体的問題点が提起され早急の要望が出されました。とりわけ鴨原自治会(作良会長)から出された要望書は具体的な対策が明記され、この要望書に従って法満寺川の吉敷川との合流点の水門の改善、ポンプ増設などから取り組んでいきたいと市側も応えていました。

その他、道路整備や子ども達の通学の安全確保に関わる要望が出されました。



馬越帝介会長



伊藤和貴市長



編集後記

今年は辰年で、たつは竜・龍とも書く。十二支の中で唯一空想の生きものなそう。なるほど。勢いよく天空をかけあがる姿を思い描いてみる。難しい。想像力にあふれ、おだやかだが活気に満ちた一年になりますように。(松本)

まちづくりかわら版

おおとし

2024.1
Vol.85

謹んで新春をお祝い申し上げます!

旧年中は大歳地区のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。衷心より感謝申し上げます。

今年こそはコロナ前の笑顔溢れる大歳地区が戻ってきますよう、まちづくり協議会役員一同、鋭意努力してまいりますので、引き続き、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い致します。

大歳まちづくり協議会 会長 馬越帝介



行事完全復活ありがとう
今年こそ新しいステップへ!



体育祭



交流列車のおとしまつり



大歳まつり



夏まつり



子どもイベントサポート

「当たったよ!」

辰年にちなんで
草木が成長し、形が整った状態を表し、「伸びる」「整う」という意味を持つ。
東京スカイツリー開業(2012年)、2000円札発行(2000年)、東京五輪(1964年)なども「辰年」です。
2024年が笑顔の多い年になりますように。



わんちゃん(盲導犬)も大歳まつりに参加!!

令和5年12月23日 朝8時
金山から撮影した大歳の街並み



大歳まちづくり協議会

〒753-0861 山口市矢原1407-5

TEL:083-920-1700

http://ootoshi-comm.info



HP



facebook



YouTube

大歳まちづくり

Search

「かわら版おおとし」新ロゴ決定!

12/18(月)に審査会をしました。大歳の住民の方からの心が温かくなるようなデザインを描いていただきました。これから住民の方への「顔」になっていくのが楽しみです。

描いてくれた方々、ありがとうございました。



野村 真生さん(矢原住宅)

大歳地区の住みやすさを手描きのやわらかさでイメージし、シンプルで見やすいデザインにしました。

まちづくりかわら版

おおとし



大歳今昔

Vol.16

「石州街道はどこ?」 和田~三作間

その道を私は小学校の通学路として使っていました。少し幅広いあぜ道でした。小学校1年の頃、春になると道の周りに麦が実り、麦刈りが終わると一面水田に変わります。水が張られた水田に川から魚が入ってきて、田の中で泳ぎ回っているのを見つけて、友達と網を持って追いかけて遊んだりしました。冬は鳳凰(ほうべん)おろしが吹き、なにも遮るものない道を半ズボンで寒さをこらえながら歩いて帰りました。車も通らず、遊んで帰れる素敵な通学路でしたが、私が小学校を卒業してから、通学路は国道沿いにかわってしまいました。



交流センター前の石州街道



三作の石州街道

その通学路が石州街道の一部だと知ったのはだいぶ大きくなってからのことです。昔の人は、歩くだけなのでこれだけ細い道でも良かったのかと何の疑問も持ちませんでした。軽トラックも通れない道でしたが、山仕事をしていた友達のお父さんがその道を時々馬車で通ることがありました。その馬車に乗せてもらうのが楽しみでもありました。

馬車が通れるくらいだからこの道幅でも昔の人は困らなかったとこれまで思っていました。しかし、この道幅は明治時代の吉敷川の河川改修にともなって改修されたことを知りました。昔の道幅は、大曲で知られる周布町の道幅だとのこと。そうすると、今の倍の道幅だったことになり。では、道半分はどこに消えたかということ、吉敷川河川改修のために土が取られて、今の吉敷川の土手道になったということです。街道として整備されていた道は、土を取られてしまったために、あぜ道にかわってしまいました。私の地区では、この道のことを「なかみち」と読んでいました。土手道ができて、田んぼの中に取り残された道となりました。

永松重美さん 第36回全国ラージボール卓球大会で3位に



大歳出身選手の大活躍 国体バレーで12年ぶりの優勝

令和5年11月4日に福井県立体育館で開催された標記大会で、永松重美さん(岩富)が男子シングルス60代の部で第3位の成績を収められました。

この部門の参加者は全国から集まった49名。強豪がひしめく中で、永松さんは、鴻南卓球クラブのメンバーとして出場。日ごろの練習の成果を発揮され、3位入賞という成果を勝ち取られました。

ラージボール卓球は、従来の卓球よりもラリーが続くように、ボールが大きく、回転数が抑えられるボールを使って、幅広い世代で楽しんでいます。永松さんは鴻南卓球クラブで毎週火曜、水曜、木曜と練習され、腕を磨かれました。

今回の入賞で同世代のみなさんを勇気づけることができたと永松さん。

10月に行われたかごしま国体バレーボール少年男子で、大歳出身選手が主将、副主将を務める山口県代表が優勝。山口県代表は高川学園の単独チームです。この種目で優勝は、平成23年の山口国体以来3度目の快挙です。

優勝までの道のりは楽なものではありませんでした。準々決勝では第1シードの東京都代表との試合でした。東京都代表はインターハイ優勝選手を含む選抜チームです。そして準決勝には、昨年、今年とインターハイで惜敗を喫したチームを主体とする鹿児島県代表。いずれも激戦を制しての勝利でした。

決勝の相手、京都府代表は全国的にも有名な強豪校のみで構成されるチームでした。どちらが勝ってもおかしくない試合でしたが、守備力で勝る山口県代表が勝利。

圧倒的な攻撃力を印象付けた門田主将が左サイドから走り込む。相手選手が警戒する中、トスが上がりと思われたボールは相手コートへ。このポイントで優勝を決めました。

選手の皆さんが通った大歳子ども習字の平賀先生は、「しばらく会っていませんが、みんなのことはよく覚えています。こんな形で活躍を知ることとはとてもうれしいです。」と話します。

高校バレーは、インターハイ、国体、春高バレーボールが三大全国大会です。すでに春高バレーボールも県予選を突破しており、目指すは2冠です。地域のみなさんの応援を期待しています。



全国優勝おめでとう!



副キャプテン 小田 歩くん



キャプテン 門田 凌也くん



懐かしい!



大好評! 大歳の気になるお店 だがしや にじ

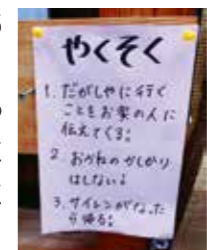
今回はモニターさんからの情報で、岩富のお店を訪ねました。高田橋に通じる道路の「水田整体院」近くの「だがしや にじ」昭和レトロなお店です。

店主の岩本咲子さんは優しい笑顔が印象的。昨年夏の水害にあわれましたが、それを乗り越え10月にお店をオープン。「にじ」という店名は保育園児の娘さんの案です。

昔は近くに駄菓子屋あったそうですが今はなく、岩本さんがコンビニでアルバイトをされている時、子ども達が高いお菓子を買いに来たり、また遠い大型スーパーに、親子が車で行くしかないのをさびしく思っていたので、昔のような駄菓子屋を開こうと思ったそうです。

狭い店内は昔ながらのアメやガム、新しい菓子、くじなどがあり、その安さがうれしい、懐かしい!!

キャッシュレスの時代ですが、子ども達が小銭を握りしめやってくるのを見守り、話し相手になり、また隣の一階部分を自由に遊べる場として、まさに居心地の良い場所となっています。壁に子ども達に守ってほしいお約束が貼ってあるのもいいですね!!



岩本咲子さん

山口市朝田75-8
営業時間 / 平日は13時~サイレンがなるまで
土・日曜日は10時~サイレンがなるまで
定休日 / 不定休
TEL / 080-6993-1124
駐車場 / 裏に1台
インスタグラム / 「だがしや にじ」で検索